



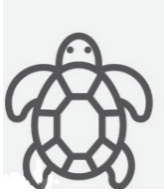
汐見台小学校区推進協だより



第17号
令和元年10月発行



発行責任者
汐見台小学校区青少年育成推進協議会
会長 松井 教



《学校と地域の連携に期待》

汐見台小学校教頭 高野 敦



今年の4月、私の生活環境は二つの点で大きく変わる事となりました。一つは、職員室の席が一番前になったこと。もう一つは、北陽中学校で臨任を始めて以来ずっと茅ヶ崎北部での勤務だったのが、一気に江の島が見えるところまで来てしまったということです。申し遅れましたが、汐見台小学校教頭の高野 敦と申します。自分を「教頭」と呼ぶのは、担任の時から自分を「先生」と呼ぶことに抵抗があった私にとってさらに大きな抵抗になっていることは言うまでもありません。人から「教頭先生」と呼ばれることには少し慣れてきましたが、以前から知っている職員からたまに「高野先生」と呼ばれるとちょっとうれしくなります。教頭だけが集まる教頭会で、誰かが誰かを「教頭先生」と呼ぶと一斉に振り向くという気まずい現象が起こります。だからみんなこの時だけは名前と呼ぶようにする暗黙の了解があるようで安心します。ちなみに私は、去年お世話になっていた教頭先生について「教頭先生」と呼びかけて一斉に視線を集めてしまう張本人です。

二つ目の変化も私には非常に不安な要素でした。それは、北陽中学校で臨任を始めたころ、南側で中学校が荒れているという話をよく聞き、「南はおっかないところだ」という根拠のない先入観を持ったことも一つの要因でした。後から聞いた話では、南北関係なく、なんとなく順番に荒れる時代が回っているのだという、これも根拠の薄い話ではありますが、実際これまでに聞いてきた市内の様子から判断するとそんな感じになっているようです。もちろん地域性の違いはありますが、「おっかない」かどうかは別なようです。

元来臆病な私は、村に古くから伝わる言い伝えのように「南おっかない説」にいつの間にか取りつかれていました。そして長老に固く戒められた禁断の場所に足を踏み入れるがごとく、汐見台小学校にやってきました。

やはり人間実際に体験することが大切です。地域性については、校長から「優しさに甘えてはならない」と再三忠告されるくらい非常に協力的で、こちらが申し訳なく思えるほどに気遣いをいただいています。なぎさの子☆村祭りでは地域力大爆発で、去年よりも客が少なかったという評判ながらも、初めて見る私には十分盛り上がったイベントでした。何よりも、大人たちが嬉々として準備している姿を、中学生が見られる場が用意されているのはとても重要だと思いました。こうして大人と子どもの世代をつなげていくことが、地域性の維持・向上には必要なことなのだと、今回の祭りで実感しました。

私も微力ながら、学校と地域の連携によって、この地域の益々の発展に協力できればと思いますので、よろしく願いいたします。

第7回『なぎさの子 ★ 村まつり』 9/15 特集



開村式



ステージ村

村まつりのスタートは、各村の村長さん・小中学校校長先生達が満場の拍手と軽快な音楽に合わせて楽しそうに踊りながらステージに上がりました。ステージ村の小中学生進行係5名のリードで、平松実行委員長がご挨拶・開村宣言！ いよいよ村まつりの始まりです！



スタッフ村

スタッフ村の受付は緑が浜のおばさま達、小中学生は放送・案内係、環境係、飲み物係、受付のアシスタントで大活躍！



(ステージ村最初の出し物は汐小生の歌と合奏)



松浪中学校の亀田校長先生にもご挨拶を頂きました
浪中生のダンスは迫力満点で会場を沸かせました



たべる村はしゃかしゃかポップコーン、わたあめ、かき氷、からあげ、フランクフルト、ちくわあげ、フライドポテト、チュロス、チョコバナナ、ジュース、あてくじ、を販売しました 昨年からはじめてあてくじと、暑かったのでかき氷が大盛況でした 会場での作業と販売は小・中・卒業生の子も達が全てをまかされて頑張りました



たべる村





(茶華道部のお点前披露)



ぶんか村

(生徒会の発表は原爆被害について)



(汐小生徒の作品展示)

ぶんか村では松浪中学校の茶華道部がお茶のお点前を子供たちに指導しました 浪中生徒会は広島を訪れて原爆被害の悲惨さを調査した結果を、写真を表示して説明しました 汐小生徒、浪中美術部、くじらクラブの作品も好評でした



あそぶ村

(新パン食い競争)



(浪中美術部・くじらクラブの展示)

石井校長先生
も楽しそう!



あそぶ村はリニューアルした障害物パン食い競争が大人気でした。ストップウォッチ、紙コップボールあて、コインおとしも子どもたちが楽しく遊んでいました



フィナーレは小学生ダンス全国大会で金賞に輝いたダンスクラブのパフォーマンスで盛り上がりました

《中学生ボランティアの感想》

- 初めての参加で色々な体験をさせてもらい、良い経験となりました お客様に喜んでもらったのが良かった
- ボランティアに参加したことで仕事の楽しさを学べてよかった
- 茶華道部では多くの皆さんに茶道を体験して楽しんでもらえた
- 平和学習の総まとめという形で参加出来るととても良い経験になりました
- 今回ボランティアをやってこんなに大変な事をやっているからおまつりが成り立って皆が楽しめるのだと思った
- ゴミ箱に分別の表示がなかったので看板などでわかりやすくすべき

《小学生ボランティアの感想》

- あそぶ村であそべる物をもっと増やしてほしい
- もう少しはきはき放送できれば良かった (放送係)
- 来年中学生になるので又ボランティアに参加して小学生のお手本になれるようにがんばりたい
- ごみのぶんべつを無視する大人もいたので、来年はもっと注意深く伝えたい (スタッフ村 環境係)
- 自由に水が飲める場所があると良いと思う
- 周りの子と相談しながら仕事が出来て楽しかった



つくる村



〔夕見台子ども会 ウッド
ビーズストラップ作り〕



〔常盤町子ども会
ライトセーバー作り〕



〔今回初めてのトライ・開き読み〕



〔デジタルサイエンスクラブ〕

つくる村は中学生の指導が受けて、順番待ちが出来るほどの大盛況でした。初めての読み聞かせ企画も、沢山の親子が子ども達の読む絵本を楽しんでいました。

【松浪地区盆踊り大会】8/10

毎年恒例の盆踊り大会は好天に恵まれましたが、各店舗のスタッフは強烈な西日をあびて汗だくで奮闘していました。汐小推進協は今年も焼きそば屋を担当、熱く焼けた鉄板の前で水分を取りながら頑張りました。浪小和太鼓の演技に続いて軽快な音頭が流れると浴衣の女性が輪を作って踊り始めました。



〔汐小推進協は緑小推進協と浪小青推協と焼きそば担当。松井会長が汗だくで焼きそばと格闘していました。〕

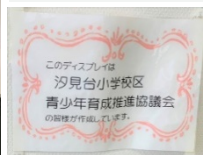


《開館5周年松浪コミセン祭り》

松浪コミュニティーセンターの開館5周年を記念して10月6日に『5周年記念松浪コミセン祭り』が開催されました。記念の式典では植松まちぢから協議会会長の主催者挨拶に始まって、佐藤茅ヶ崎市長ほか来賓の祝辞がありました。汐小推進協は開館以来館内のディスプレイを引き受け、イベントや季節に合わせた飾りつけを行ってきました（下は秋をイメージした飾りつけ）。



〔提灯に灯がともると浪小和太鼓クラブの荘厳な演技。日が落ちて多少涼しくなると盆踊りの始まりです。〕



（編集後記） 残暑の厳しい中、第7回『なぎさの子☆村まつり』は大盛会で幕を閉じる事が出来ました。小中学生123名と大人166名のスタッフがそれぞれの村で準備から運営まで汗を流しました。小中学生スタッフにとっては貴重な体験学習になったと思います。 TOM